

設 立 趣 意 書

第4回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・山形が、この山形の地で今年3月7日から3月9日まで開催されました。多くの山形県民の皆さんの熱意とサポートにより、沢山の成果と感動をもたらし、私達に、人間が持つ可能性のすばらしさを示し、大きな勇気を与えてくれました。

この機会に山形においてスペシャルオリンピックスの競技を多くのアスリートの皆さんに提供し、彼らの運動機能向上、身体的な発達促進ばかりでなく、チャレンジ精神や勇気を培い、目的達成の喜び、生きる喜びを共感、共有することを目指したいと思います。又、スペシャルオリンピックスは、一人一人の個人が自然に、あるがままに受け入れられ、認められる様な社会になることを願っています。

この様なことから、私たちスペシャルオリンピックス日本・山形及び関係者は、今、スペシャルオリンピックスの色々な競技導入にチャレンジしています。特に団体競技としてフロアホッケーを山形県内に広く普及させたいと考えています。この為、この度日本フロアホッケー連盟の山形県支部として山形フロアホッケー連盟を設立する事に致しました。フロアホッケーは、スペシャルオリンピックス独自の競技として、アイスホッケーとリングエッティから開発された最も歴史の有る競技であり、知的障がいのある人とない人が共にプレーをするユニファイド種目もあります。

私達は、フロアホッケーを年齢、性別、障がいの有無に関わらず、又、それぞれの体力や技能レベルに応じて、すべての人が楽しめるユニバーサルなスポーツとして広めたいと考えております。そして、フロアホッケーの普及を通して、スポーツを通じた健康で明るい社会の創造、障がいの有無に関わらず誰にも開かれたユニバーサルな社会の創造を推進して参りたいと考えております。どうかこの設立の趣旨にご賛同いただき、是非山形フロアホッケー連盟の設立、今後の活動にご支援賜ります様お願いいたします。

2008年8月30日

JFHF・山形フロアホッケー連盟
設立準備会世話人代表 武藤 幸規